



**静岡県健康寿命の延伸に向けた提言
～社会健康医学の研究推進～
(概要)**

平成29年2月
「社会健康医学」基本構想検討委員会

静岡県の健康寿命の延伸に向けた提言（概要版）

I 社会健康医学を推進する背景

○ 超高齢社会、社会保障費の増大が進行する中で、科学的知見に基づく健康寿命の延伸に向けた取組は急務

現状① 高齢化の進展 と 平均寿命と健康寿命の差

- ・ 県内の高齢者は100万人を超え、4人に1人は65歳以上、平成52年には65歳以上は3人に1人となる見込み
- ・ 日常生活が制限される期間(平均寿命と健康寿命の差)は男性で約8年、女性で10年以上

高齢化率
27.8%

平均寿命と健康寿命の差
男8.35年

平均寿命と健康寿命の差
女10.89年

現状② 医療費・介護費の拡大

- ・ 平成21年から27年までに、静岡県の医療費(国民健康保険+後期高齢者医療)は6,148億円から7,350億円へ増加
- ・ 同じ期間に、介護費も2,001億円から2,672億円へ増加

医療費
6年で1.2倍

介護費
6年で1.3倍

現状③ 高齢者の定義と認識の差異

- ・ 高齢者を65歳以上と定義した昭和30年代から、男女とも平均寿命が15年以上延伸し、健康で活躍する方が増え意識も変化

男性の平均寿命(昭30⇒平22)
64.12歳 ↗ 79.95歳

女性の平均寿命(昭30⇒平22)
68.63歳 ↗ 86.22歳

課題

様々な施策に取り組んできたが、更なる健康長寿施策の展開を図るためには・・・

科学的知見の不足

調査結果に対する
要因分析など科学的視点が
不十分



人材の不足

医療・健康データを分析する
人材の育成が進められて
いない



仕組みの不足

行政、医療機関、大学など
が行う個別の取組を集約化・
体系化する仕組みがない



II 社会健康医学の推進

- 科学的知見への着目、人材育成、仕組みづくりにより静岡県健康寿命の更なる延伸を目指す。

解決策① 研究の推進

- ・ 科学的な視点からの要因分析・施策の創出
- ・ 健康寿命延伸施策等の整理・体系化
- ・ 医療ビッグデータの収集や分析

解決策② 人材の育成

- ・ 医療・健康データを分析し、科学的な視点を持って取組や施策を担う人材の育成
- ・ 研究者や医療専門職などで、手法・知識を習得し、治療等現場に役立てるリーダーとなりうる人材の育成

解決策③ 拠点となる仕組みの構築

- ・ 大学や研究機関と連携し、データ収集と教育、情報発信の中心となる研究の拠点づくり

社会健康医学の研究

期待される成果

医療への成果

- ・ 医療水準の向上
- ・ 医師の研究環境の整備による県外医療専門職の誘引・定着
- ・ 地域医療を支える医師などを通じた知識や技術の県民への還元

健康づくりへの成果

- ・ 健康意識の醸成、意識の改革
- ・ 社会健康医学の知識を有する人材の輩出
- ・ 医療費、介護費の抑制
- ・ 県民の満足度向上

III 健康寿命の延伸に向けた提言～社会健康医学の研究推進～

○ 静岡県が推進すべき4つの提言により、健康寿命の更なる延伸を図る。

社会健康医学に着目した取組

期待される成果

目標

提言① 研究の推進

- ・ 医療ビッグデータの活用
- ・ 施策の体系化や臨床研究のための疫学研究
- ・ ゲノムコホート研究

!

提言② 人材の育成

- ・ 医師や看護師、薬剤師など医療専門職を主な対象とした教育の実施
- ・ 社会健康医学を理解し、地域のリーダーとなる人材（専門職）の育成

!

提言③ 拠点となる仕組みの構築

- ・ 研究と教育の拠点となる仕組みの構築

!

提言④ 成果

- ・ 社会健康医学の取組により得られた成果の県民への還元

!

効果的施策の展開

医療水準の向上

健康意識の醸成

静岡県の健康寿命の更なる延伸

世界から憧れを呼ぶ健康長寿ふじのくにの実現

IV 「社会健康医学」基本構想検討委員会委員

○委員長、50音順、敬称略

- 本庶 佑 静岡県公立大学法人理事長
- 佐古 伊康 しずおか健康長寿財団理事長
- 田中 一成 静岡県立病院機構理事長
- 鶴田 憲一 全国衛生部長会会長（静岡県理事(医療衛生担当)）
- 徳永 宏司 静岡県医師会副会長
- 中山 健夫 京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻
健康情報学分野教授
- 宮田 裕章 慶応義塾大学医学部医療政策・管理学教授
東京大学大学院医学系研究科医療品質評価学講座教授
- 宮地 良樹 滋賀県立成人病センター病院長（京都大学名誉教授）
- 望月 律子 静岡県訪問看護ステーション協議会会長
- 山本 清二 浜松医科大学理事・副学長（教育・産学連携担当）
- 山本 敏博 静岡県社会福祉法人経営者協議会会長